

14 「桂イノベーションパーク」への新事業創出型事業施設の設置について

(経済産業省)

京都市では、平成14年3月に策定致しました「京都市スーパーテクノシティ構想」におきまして、京都大学桂キャンパス(大学院工学研究科、情報学研究科)に隣接する「桂イノベーションパーク」を、知的クラスター創成事業(「京都ナノテク事業創成クラスター」構想の推進)の取組とも連動した産学公連携による次世代産業、ハイテクベンチャー企業の創出を目指す「知的産業創造拠点」と位置づけ、整備を進めております。

同パークの目的は、世界最高水準の研究成果を誇る京都大学の研究開発成果を事業化する仕組みを推進することであり、その実現は、科学技術創造立国を目指す我が国の発展に大きく寄与するものと考えられます。

つきましては、既に開所致しました「京大桂ベンチャープラザ」及び「研究成果活用プラザ京都」との緊密な連携のもと、京都のもつポテンシャルを最大限に活かし、地域発の新事業をさらに大きく育てていくための成長支援機能を有した新事業創出型事業施設の設置を要望します。

要望事項

「桂イノベーションパーク」への新事業創出型事業施設の設置

主な要望先：経済産業省(経済産業政策局地域産業グループ地域経済産業政策課、産業施設課)

本件に関する連絡先：産業業観光局商工部産業振興課 担当課長 村中俊文 TEL 075-222-3324

産業観光局スーパーテクノシティ推進室 副室長 平竹耕三 TEL 075-222-3434

< 参考 >

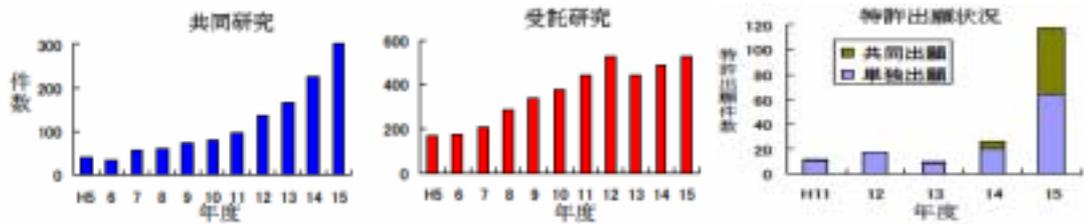
1 設置予定地域がもつポテンシャル

(1) 京都大学の移転

京都大学桂キャンパスには、大学院工学研究科、情報学研究科及び産学公連携の拠点施設である「国際融合創造センター」が、吉田キャンパスから順次移転されている。また、研究科の枠組みを越えた戦略的研究を行う拠点施設として、「桂インテックセンター」が整備された。

(2) 産学連携実績の動向

パークに隣接する京都大学では、民間等との共同研究や受託研究の件数が、増加傾向にある。また、近年の知的財産への意識向上に伴い、京都大学研究者の発明届出・特許出願件数も急増しており、中でも、企業との共同出願が顕著な増加を示している。



2 パーク内の既存国施設との比較

研究成果活用プラザ京都 (平成16年5月開所)	京大桂ベンチャープラザ (平成16年6月開所)	新事業創出型事業施設 (今回要望対象施設)
科学技術振興機構 重点地域研究開発促進事業	中小企業基盤整備機構 新事業創出型事業施設整備事業 (大学連携型インキュベータ)	中小企業基盤整備機構 新事業創出型事業施設整備事業 (クリエイション・コア)
産学公交流により、大学等の研究成果を社会に還元するための活動拠点として設置・運営される施設である。 提案公募による大学と企業の共同研究(=育成研究事業)が実施される。	賃貸型支援施設 大学連携型インキュベータは、大学研究者自らの創業等、「大学発ベンチャー」の創出を最大の目的とする施設であり、主たる支援対象は、創業の準備段階を含め、創業から間もないスタートアップ段階から成長初期段階に至る事業者である。	賃貸型支援施設 アクセラレータ(成長加速器)として位置付け、主たる支援対象を、成長中期段階以降にさしかかった事業者とする。 企業の成長を一段と加速するため、製品化を目的とした試作を可能とする試作実験室(VIF)仕様とする。

